

2



なぜ僕らは働くのか
君が幸せになるために考えてほしい大切なこと
池上彰 監修 / 学研プラス ¥1,500

選んでいただき、ありがとうございます。
社会に出て働くとは、どんな意味があるのか、
あなたも考えたことがあるのではないのでしょうか。
働き方にはいろいろありますが、この本をきっかけ
に将来のことを考えてみませんか。
何かヒントがあると思いますよ。

池上彰さんより

3



水を縫う
寺地はるな / 集英社 ¥1,600

やりたいことがあってもなくても、生きていくのは
大変で、でも同時に楽しいことでもあります。
ときに勢いよく、ときに静かに、流れる水のように
淀まずに生きる人びとの物語です。

寺地はるなさんより

4



逆ソクラテス
伊坂幸太郎 / 集英社 ¥1,400

イチオシ本に選んでもらえて、とても嬉しいです！！
この本の登場人物の多くは小学生なのですが、
だからといって小学生向けではなく、どちらかとい
えば大人に、というよりもさまざまな人たちに
向けて書いたような小説です。
読んで楽しんでもらえますように。

伊坂幸太郎さんより

5



おとめ六法
上谷さくら、岸本学 著
Caho イラスト
KADOKAWA ¥1,400

法律は、難しくとっつきにくい？
でも、法律は、知っている人しか守ってくれません。
学校生活や恋愛、SNSに関することも、
多くの法律が関係しています。
自分や大切な人を守るために、
ぜひ読んでみてください！

上谷さくらさんより

埼玉県の
高校図書館司書が
選んだ

**イチオシ本
2020**

1

雲を紡ぐ

伊吹有喜 / 文藝春秋 ¥1,750

投票者コメントより

主人公も、主人公をとりまく人たちも皆悩んで
いる。その悩みをゆっくりと、それぞれのペース
で夢や希望に変えていく様子が実に清々しい。

伊吹有喜さんからのメッセージ

このたびは「イチオシ本」に選出していただき、
とても光栄です。『雲を紡ぐ』は高校二年生の美緒が
「自分とは何か」を探していく物語です。
本の扉を開けて、美緒の心の旅をご一緒に
いただけたらとても嬉しいです。



9

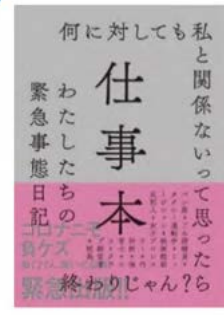


10代から知っておきたい
あなたを閉じこめる「ずるい言葉」
森山至貴 / WAVE出版 ¥1,400

「ずるい言葉」に閉じこめられた10代の私にとって、
もっとも自由を感じられる場所は図書室でした。
だから、この本を司書の先生に評価していただき、
とてもうれしいです。
子どもたちが図書室でこの本に出会い少しでも
救われることを願っています。
ありがとうございました。

森山至貴さんより

8



仕事本
わたしたちの緊急事態日記
左右社編集部 編 / 左右社 ¥2,000

たくさんのご推薦ありがとうございます。
コロナ禍の記録としてはもちろん、この世には
数えきれないほどの仕事があり、それはすべて
誰かの生活につながっているという不思議を
味わっていただけたら嬉しいです。

左右社編集部より

6



晴れ、時々くらげを呼ぶ
鯨井あめ / 講談社 ¥1,300

世界は私たちの手が届かないところで常に牙を
剥いている。
私たちは弱いから、たくさんの理不尽に揉まれ、
大切なものを見失い、意味もなく泣きたくなる。
そんな日々のなかで、この本が「ちょっとだけ
優しくなろう」と思えるきっかけになれば
嬉しいです。

鯨井あめさんより

7



わたしの美しい庭
凧良ゆう / ポプラ社 ¥1,500

高校生にすすめたい本に選んでいただきありが
とうございます。
これはひとりひとりが心に持つ庭の物語です。
あなたが大事に造っている美しい庭を土足で踏み
荒らされることがないように、またその逆もない
ように。奪うのではなく守るための強さを持てるよ
うに。この本がその手がかりになれば嬉しいです。

凧良ゆうさんより